

【感想】 私は、京土会の研修助成を受けて、2013年7月13日から7月23日までブラジルに研修に行きました。研修では、WCTRに参加し、「Land Use Change in Outdoor Parking Lots and Its Influence on Land Price in Central Areas of Japanese Local Cities」について質疑応答を含め20分間発表しました。学会では、自身の力不足を痛感する結果となってしまいましたが、多くの課題がみつかった良い機会でもありました。また、学会参加に合わせて、都市計画が実際に機能しているまちとして、当該分野で良く知られるブラジルのクリチバ市を訪問することができました。クリチバ市では、現地の都市計画・交通計画の変遷のプレゼンテーションを聴講し、クリチバ市役所で現市長の Gustavo Fruet 氏にお会いし、これからのクリチバ市の都市計画・交通計画についてヒアリングする機会に恵まれました。また、前市長の Cassio Taniguchi 氏からクリチバ市の都市計画・交通計画の基本理念を伺い、市直属の都市計画研究所である IPPUC の総長 Sergio Pires 氏からクリチバの土地利用・環境政策やバスシステム等に関する話を伺うことができた。さらに、実際にクリチバ市の軸を形成している BRT システムを体験し、様々な都市機能を備えるバスターミナルを見学しました。

今回の京土会の研究助成によって、国際学会に参加するだけでなく、実際に目にすることが難しい海外の都市計画の事例について調査することができました。支援いただいたことに心より感謝申し上げます。